

第13回

エリクサジェン・サイエンティフィック ウェビナー



多能性幹細胞の可能性に迫る
～難病解明に向けた疾患モデル～

2024年 12月5日 木 会場：Zoom 13:00-14:00

参加費無料

演 題 1

13:00-13:40

ヒトiPS細胞モデルを中核とする臨床・細胞・病理統合型 研究スキームの構築

ヒトiPS細胞モデルを用いた研究は、オルガノイド技術やゲノム編集技術の台頭も相まって、世界中でその勢いを増している。しかしながら、iPS細胞モデルのみでは、真にヒトの病態や状態を模しているかの判断が困難な場合があり、特に孤発性患者のモデル化において問題となる。そこで、iPS細胞に紐づいたゲノムを含む臨床情報や生体・病理試料を活用し、iPS細胞モデルを基軸とした包括的なヒトモデル解析スキームの構築が重要となる。本ウェビナーでは、TR/rTRの実践経験から、神経難病を対象としたこれまでの研究成果について概説する。

慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア 特任准教授
慶應義塾大学再生医療リサーチセンター（KRM） 副センター長
森本 悟 先生

演 題 2

13:45-14:00

神経変性疾患研究を加速する患者iPS細胞由来神経細胞パネル

エリクサジェン・サイエンティフィックの独自の技術である Quick-Tissue™ 技術によって製造された高品質、高機能なアルツハイマー病患者 iPS細胞由来の神経細胞を用いたアルツハイマー病パネルについて紹介いたします。

エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社
iPS細胞事業部 部長 饗庭 一博

申し込みフォーム: https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_UwLv7iEfRny-X33i2c44LA

お問い合わせ



エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社
TEL : 080-7670-9082
EMAIL : jp@elixirgensci.com

QRコードからも
お申込み頂けます



HIGH QUALITY HUMAN IPSC-DERIVED KITS AND CELLS DELIVERED FAST